

公益財団法人徳間記念アニメーション文化財団

平成 23 年度 事業計画書

(平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで)

I. 公益目的事業

1. アニメーション美術館における展覧会事業の企画・運営 (1 号事業関係)

三鷹市立アニメーション美術館 (通称: 三鷹の森ジブリ美術館、以下当美術館) において、以下のような常設展示、企画展示を行う。開館日数は 294 日。詳細日程は、後記カレンダーの通り。

会期 平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

午前 10 時～午後 6 時 会期中無休 (休館日を除く)

(1) 常設展示

◆常設展示その 1 「動きはじめの部屋」

会場 地下一階常設展示室

この展示室では、現在のアニメーションが生れるもとになった様々な発明を題材にした展示物を見せている。19 世紀あるいはもっと昔に生み出されたそれらの発明は、回すと絵が動いて見える円盤や、窓から覗くと奥行きのある空間が見える箱といった視覚玩具であった。絵を動かすことや、奥行きのある空間 (別世界) を作ることを追求してきた先人からの積み重ねは、やがてフィルムとしての映画を生むに至った。ここでは、そうした流れを踏まえつつ、昔の発明と現代の技術を融合させて、より楽しめるものとして展示物を制作した。以下、展示物の概要を説明する。

・「ジブリハウス」「ジブリハウス アネックス」

窓の中にセル画を飾った家で、スタジオジブリ作品を紹介する展示物。

・「あるくのだいすき」

ドーム型の窓の中で、映画「となりのトトロ」のメイや、雲や草木などが電動仕掛けで動く様子を見せる。この世界ではあらゆる物が動き、人は昔から絵を動かしたいと考えてきたことを謳う、展示室のイントロダクション的存在の展示物。

・「ゾートロープ小屋」

19 世紀に発明された視覚玩具「ゾートロープ」を電動で回転させ、実際に絵を動かして見せる展示物。ケースを、ゾートロープ発明当時の見世物小屋に仕立てた。

・「びっくり劇場」

ステッピング・モーターという特殊なモーターを用いたゾートロープを作り、「ゾートロープ小屋」同様、ケースの中を劇場に仕立てて見せている展示物。

・「トトロぴょんぴょん」

少しずつポーズに変化をつけた人形を円盤の上に円周状に並べ、暗闇で円盤を高速回転させ、明滅する光で照らすと、人形が動いて見える。この仕掛けを用いて制作した「となりのトトロ」のキャラクターたちが動く様子を見せる立体ゾートロープの展示物。

・「パノラマボックス」

ガラスに描かれた絵を 7～10 枚並べた箱。正面の窓から覗くと、描かれたものが奥行き感をもって見える。1700 年ごろに作られた「ピープショー」という視覚玩具をもとにした展示物。

・「フィルムぐるぐる」

ケースの中を映画のフィルムがいくつものリールを通りながら縦横無尽に走り、スクリーンにフィルムが投影される展示物。フィルムはループ状になっていて、「進化論」という短編アニメーションを見せている。

・「しんきろう」

「びっくり劇場」同様のステッピング・モーター式ゾートロープの展示物。

・「上昇海流」

筒型の、縦に長く伸ばした形の巨大ゾートロープの展示物。無数の鳥が羽ばたき、上昇するように見える。

◆常設展示その2「映画の生れる場所(ところ)」

会場 一階常設展示室

この4つの小部屋を利用した展示室では、アニメーション映画を製作しているスタジオを模した空間を設け、映画が作られる現場の雰囲気が味わえるものとしている。ただし、実在のスタジオをそのまま再現するのではなく、ものづくりの楽しさが感じられるような、イメージの広がる空間をつくるべく、家具調度品から小物、絵の飾り方に至るまで工夫を試みた。

以下、一連の展示の概要を説明する。

・「映画のはじまる所」

映画の準備段階で浮かぶ様々なアイデアを絵にした「イメージボード」と呼ばれる水彩画を描く部屋。部屋の壁のいたるところにイメージボードを貼るとともに、アイデアの源泉となるようなもの(模型の飛行機や恐竜、本、スクラップ、工具、ガラクタなど)をふんだんに置いた。

・「世界をつくる所」

物語の舞台を描く美術を担当する部屋。壁には背景画やセル画、美術ボードと呼ばれる背景画の習作などを飾った。

・「もの語る所」

アニメーションのシナリオにあたる絵コンテを書く机とその周辺。「世界をつくる所」と同じ部屋の一角に設けた。大量の本を所狭しと山積みになっている。絵コンテがどのようなものかを書いた説明書きなども壁に貼っている。

・「絵コンテ室」

実物の絵コンテを展示し、スタジオジブリ作品の絵コンテのコピーが閲覧できる部屋とした。

・「作画室」、「トレース&彩色」、「撮影・編集」、「録音」

絵コンテから後の作業工程(作画、仕上、撮影・編集、録音など)に関して、一つの部屋に凝縮して見せている。各コーナーをそれらしいものに再現しつつ、作画と仕上げの様子を壁画と壁に取り付けた家具でだまし絵として見せたり、動画機のそばに動画の参考上映を行っている映写機を置いたり、実際にファインダーが覗ける撮影台を設置したり、とポイントになるものを配した。

◆常設展示その3「ネコバスルーム」

会場 二階常設展示室

「となりのトトロ」のキャラクター、ネコバスを全長5.4mのぬいぐるみで作り、美術館二階の一角を、子どもたち(小学生以下)がネコバスに乗って遊べる空間として開放している。

(2) 企画展示

「ジブリの森のえいが展—土星座へようこそ—」

会期 平成23年4月1日～平成23年5月22日

午前10時～午後6時 会期中無休(休館日を除く)

会場 一階企画展示室

映像展示室「土星座」で上映している、当館でしか見ることができない短編アニメーション映画が現在までに9作品揃っている。子供も大人も楽しめる土星座ならではの短編作品を作り続けてきたが、既成概念にとらわれずに作ってきた結果、お話の内容のみならず、作風までもが多彩な9作品になっている。

今回の企画展示では、この多彩な作品群を作品ごとに場面映像などを使ってパネルにて紹介しつつ、実際に触れられる立体パネルや立体物、動画のパラパラボックスなどで映画とは形を変えて楽しんでもらえる展示とした。

ジブリ美術館にとっては、映画も大切な展示物の一つ。一本一本の作品に触れて、土星座で見るとはまた違った楽しみ方で味わって頂くことができればと考えている。

また、平成23年5月23日以降の後期の企画展示については、現在企画制作中である。

(3) 映像展示室における短編アニメーション映画の上映

地下一階の映像展示室で、以下の短編映画 9 作品を順次上映する。

「くじらとり」	(原作 中川李枝子・山脇百合子	上映時間約 16 分)
「コロの大さんぽ」	(原作 宮崎駿	上映時間約 15 分)
「めいとこねこバス」	(原作 宮崎駿	上映時間約 15 分)
「やどさがし」	(原作 宮崎駿	上映時間約 12 分)
「水グモもんもん」	(原作 宮崎駿	上映時間約 12 分)
「星をかった日」	(原作 井上直久	上映時間約 16 分)
「ちゅうずもう」	(原作 日本民話より	上映時間約 13 分)
「パン種とタマゴ姫」	(原作 宮崎駿	上映時間約 12 分)
「たからさがし」	(原作 中川李枝子・山脇百合子	上映時間約 7 分)

「くじらとり」

原作／中川李枝子・山脇百合子 脚本・監督／宮崎駿

児童文学の名作「いやいやえん」のエピソードである「くじらとり」をアニメーション作品。

上映時間 16 分

「コロの大さんぽ」

脚本・監督／宮崎駿

家を飛び出した子犬のコロが、飼い主のもとに戻るまでを描いたアニメーション作品。

上映時間 14 分 30 秒

「めいとこねこバス」

原作・脚本・監督／宮崎駿

「となりのトトロ」のメイと、小さなネコバスとの出会いを描いたアニメーション作品。

上映時間 13 分 43 秒

「やどさがし」

原作・脚本・監督／宮崎駿

新しい家をさがしに旅に出た女の子フキが、次々と奇妙なものたちに出会う物語。全ての音声（音楽・効果音・台詞）を人の声だけで表現し、場面に沿ったものの動きや様子・音をあらわす文字が画面上に現れる。

上映時間 12 分 11 秒

「水グモもんもん」

原作・脚本・監督／宮崎駿

水グモとアメンボの出会いを中心に水の中の様々な生き物たちを描いた作品。地下一階常設展示室に展示されている、パノラマBOX「水グモもんもん」への子どもたちの反応がきっかけとなり制作された。

上映時間 14 分 54 秒

「星をかった日」

原作／井上直久 脚本・監督／宮崎駿

中央ホールの壁画「上昇海流」の作者であり、画家の井上直久氏の作りだす“イバラード”という独自の不思議な光と色と物語を持った世界を映像化した作品。

上映時間 16 分 03 秒

「ちゅうずもう」

原作／日本民話より 企画・脚本／宮崎駿 絵コンテ・監督／山下明彦

日本に伝わる昔話や民話をアニメーションにしてみたいと、『ねずみのすもう』をもとに描かれた。急な山肌に村がある、長野の下栗のような山里を舞台とし、山のごちそうを食べたねずみたちのお腹がふくらんだり、相撲をとると身体が伸び縮みしたりと、アニメーションならではの動きの面白さを表現しようとした作品。

上映時間： 12 分 55 秒

「パン種とタマゴ姫」

原作・脚本・監督／宮崎駿

いばらの森の奥深くの水車小屋に暮らす恐ろしい「バーバヤーガ」から、「タマゴ姫」と生命をもった「パン種」が逃げ出す物語。台詞はなく、音楽はヴィヴァルディの『ラ・フォリア』が再構築されている。ピーテル・ブリューゲルの絵画『穀物の収穫』から着想を得て制作された作品。

上映時間 11分37秒

「たからさがし」

原作／中川李枝子・山脇百合子 脚本・監督／宮崎駿

ゆうじとうさぎのギックが同時に見つけた棒。棒の持ち主を決めようと、かけっこをしても、お相撲をしても、幅跳びをしても、勝負がつきません。さて、二人は・・・という物語のアニメーション作品。

上映時間 約7分

※原則として、午前10時から午後6時までの開館時間中、毎時15・35・55分から上映を開始し、午後5時35分で1日の上映を終了する。

※「くじらとり」「コロの大きなぼ」「めいとこねこバス」「星をかった日」「ちゅうずもう」「たからさがし」の6作品においては、1時間に1回、日本語字幕付フィルムを上映する。

(4) その他

1年を通じて数回、テーマを決めたギャラリー展示を予定しているほか、12月には館内にクリスマス装飾を施す計画である。

(5) 美術館開館日 入館者数等

開館日数 294日 休館日数 72日 (※下記のカレンダー網掛が休館日)

平成23年度 三鷹の森ジブリ美術館 営業カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土	開館	休館
4						1	2	26	4
	3	4	5	6	7	8	9		
	10	11	12	13	14	15	16		
	17	18	19	20	21	22	23		
	24	25	26	27	28	29	30		
5	1	2	3	4	5	6	7	20	11
	8	9	10	11	12	13	14		
	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30	31						
6				1	2	3	4	23	7
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30				
7						1	2	28	3
	3	4	5	6	7	8	9		
	10	11	12	13	14	15	16		
	17	18	19	20	21	22	23		
	24	25	26	27	28	29	30		
	31								
8		1	2	3	4	5	6	27	4
	7	8	9	10	11	12	13		
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
	28	29	30	31					
9					1	2	3	26	4
	4	5	6	7	8	9	10		
	11	12	13	14	15	16	17		
	18	19	20	21	22	23	24		
	25	26	27	28	29	30			
10							1	27	4
	2	3	4	5	6	7	8		
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29		
	30	31							
11			1	2	3	4	5	16	14
	6	7	8	9	10	11	12		
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28	29	30					
12					1	2	3	23	8
	4	5	6	7	8	9	10		
	11	12	13	14	15	16	17		
	18	19	20	21	22	23	24		
	25	26	27	28	29	30	31		
1	1	2	3	4	5	6	7	25	6
	8	9	10	11	12	13	14		
	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30	31						
2				1	2	3	4	25	4
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29					
3					1	2	3	28	3
	4	5	6	7	8	9	10		
	11	12	13	14	15	16	17		
	18	19	20	21	22	23	24		
	25	26	27	28	29	30	31		
								150	33
								144	39

※カレンダー内、網掛け日が休館日。

【チケットの販売について】

入館料金は以下の通り。(料金はすべて消費税込み)

- 大人・大学生…1,000 円
- 中学高校生……………700 円
- 小学生……………400 円
- 幼児……………100 円 (3 歳以下は無料)

当美術館においては、以下の理由により、チケット販売において日時指定の予約制を導入している。

- ①大人数が来る事による混雑防止と安全性、快適性の確保
- ②近隣住民への配慮
- ③交通渋滞の抑制
- ④地方客への配慮
- ⑤金銭の授受、システム故障等発生に於ける改札の混乱防止

入場時間は、以下のように 1 日 4 回に分け、それぞれの時間を指定したチケットを販売している(入れ替え制ではない)。各回のチケットは 600 枚を原則とし、合計 2,400 枚を目安に販売する。2,400 枚という数字は、映像展示室の 1 日当たりの収容力を算出し、これを基にして決定している。

- 1 回目 10 時 (10 時 30 分までに入場)
- 2 回目 12 時 (12 時 30 分までに入場)
- 3 回目 14 時 (14 時 30 分までに入場)
- 4 回目 16 時 (16 時 30 分までに入場)

チケットの販売は株式会社ローソンエンターメディアに委託し、全国に約 9,700 店舗を有するコンビニエンスストア「ローソン」にて販売を行う。チケットの名称は日時指定入場予約引換券(通称:入場引換券)とし、ローソンで発売するのはこの入場引換券で、当日美術館受付にて入場券(通称:フィルムチケット)と交換する。

入場引換券の購入方法は以下の通り。

- ①ローソン店舗内に設置してあるチケット予約・販売端末「ロッピー」に必要事項を入力して購入する。
- ②ローソンチケットに電話して予約番号をもらい、ローソンのロッピーに入力して購入する。
※その他、ローチケ.com で携帯、インターネット予約も可能。
※日時変更、払い戻しはできない。

【三鷹市民及び近隣市民向けチケット販売について】

より多くの三鷹市民に当美術館を楽しむ機会を提供するため、平成 14 年 3 月から、ローソンで販売するチケットとは別枠で、三鷹市民専用のチケットを販売している。さらに、平成 20 年 7 月より、武蔵野市、小金井市、西東京市の近隣市にも対象を拡げ、各市の住民登録または外国人登録をしている、在学または在勤の市民を対象として、みたか都市観光協会に委託し、以下のように販売している。

- ①販売チケット 午前受付券(10 時)、午後受付券(14 時)の各回入館分、毎回 50 枚。1 日 100 枚限定。料金はローソンと同じ。
- ②購入方法 対象者であることを証明できる書類(住民票・免許証・保険証・外国人登録証明書・学生証や会社の証明書など)を持参のうえ、三鷹駅前のみたか観光案内所にて購入。1 人 6 枚まで。
- ③販売日 3 カ月毎の販売。売り出しは、最初の月の前月 1 日から(例:4、5、6 月の販売は 3 月 1 日。7、8、9 月は 6 月 1 日。)

【海外向けチケット販売について】

当美術館への来館が多い台湾、香港、韓国のアジア 3 地域において、平成 13 年 12 月 20 日から、株式会社 JTB エイティーシーに委託し、各国の旅行エージェントを通じてチケットを販売している。また、平成 14 年 6 月 1 日からは、株式会社 JTB グローバルマーケティング&トラベルに委託し、米国、欧州およびオーストラリアなど欧米各国 9 カ国 24 支店で販売している。販売枚数は 1 日 200 枚を目安として販売しており、今期も従来どおりの販売を予定している。

(6) 三鷹市民招待日など

- ①三鷹市民デー、近隣市民デーの実施。

平成 23 年 10 月 1 日(土)、2 日(日)の 2 日間を、三鷹市民デー及び近隣市民デーと定め、三鷹市民及び近隣市民を対象として、抽選で各日 2400 名を無料招待する予定である。

②三鷹市内小学校並びに幼稚園・保育園の美術館見学の受け入れ。

三鷹市内小学校の小学3年生の児童及び三鷹市内の幼稚園・保育園の園児の美術館見学を、例年同様受け入れる予定である。

③地域活動への参加

地域の交流を深めるため、三鷹市とその姉妹都市及び近隣市の開催するイベント・行事に参加の予定。映画の上映や可能なものについてはブースを作り、財団販売物の販売並びにジブリ美術館、三鷹・近隣市民枠入場券の宣伝をする予定である。

2. アニメーション作品及びアニメーションに関する資料の収集、保管及び展示（2号事業関係）

(1) アニメーション作品及びアニメーションに関する資料の収集、保管及び展示

アニメーション文化における優れた国内外のアニメーション作品および資料等の収集を行い、保有資料に関する資料台帳の整備を行うとともにデータ化を進めていきます。同時に、保有資料に関する長期保管のための保護処理・修復・防虫薫蒸等の措置を行います。

●保有するアニメーションに関する資料の整理・保管

アニメーションの制作過程では、イメージボードにはじまり、原画・動画、セル画、背景画など、膨大な量の絵が描かれる。長編映画一本の動画だけでも10万枚を超えるというそれらを、整理・保管することは容易ではない。また、そうした絵の中には、フィルム完成をもって役目を終えたとして、保管されることなく散逸するケースが多い。

アニメーション美術館である当美術館は、そうしたアニメーション制作のために描かれた絵を、収集・保管、あるいは展示や調査研究の対象として重要な資料と捉えている。そこで、収集した資料を一つ一つ点検し、番号を付け、分類し、保管のための処置をほどこしつつ、コンピューターを使って検索や保管状況の確認が行えるようなデータベース作成も行った。

現在、当財団の基本財産である収蔵作品及びスタジオジブリから寄託を受けた資料を中心に、約30,000点の作品資料が保管のための処置と整理のためのデータ入力を終えている。

今期については、「借りぐらしのアリエッティ」「パン種とタマゴ姫」「たからさがし」に関する作品資料の保管及び整理を行う予定である。

①保管のための処置

全ての資料は②で述べる項目で整理分類した上で、イメージボード、背景、背景付きセル画、セル画、原画に関して保存のための処置作業を行う。作業概要は以下のとおり。

【保存用の紙、その他道具について】

保存用の紙は、酸化劣化を防ぐ、もしくは遅らせるため、以下のように中性のものを使用する。

台紙：AFプロテクトH 209.4g/m²

合紙：薄葉紙（SILティッシュ）14g/m²

保管箱：キットボックス（大、中2種）

他：アーカイバルボード製の箱や台紙

また道具類も、破れ補修用の粘着テープに無酸性テープ（フィルムプラストP-90）、糊にでんぷん糊を使用するなど、紙と同様に劣化の原因となる酸性物質の使用を極力避ける。

【ゴミ、汚れ等の処置について】

付着した埃、消しゴムカス、菓子類などのゴミについては、羽箒、練り消しゴム、ピンセット等で取り除く。

鉛筆によるこすれ、絵の具、手垢、コーヒー等の染みなどの汚れについては、鉛筆、手垢は練り消しゴムで可能な限り消した。絵の具は、ほとんどが悪影響を与えないため処置はしていない。染みの酷いものは、他の部分に影響を及ぼすのを抑えるために薄葉紙で挟み込むが、それ以上の処置は特にしていない。

他に、まれではあるが、タバコの焼けがあれば炭化した部分を取り除く。カビが生えていたものは薄葉紙で包み、他の部分に影響を及ぼすのを抑えるようにする。

カビの発生など状態の酷いものに関しては、専門家による修復を施すことも検討している。

【種類別保存方法】

イメージボード：合紙に薄葉紙を使用。AF プロテクトHに一枚ずつ挟む。20組ずつ文書箱に保存。
背景画：基本的にはイメージボードと同様。複数の紙が一組になっているものはそれぞれに薄葉紙を合紙に使用。また、画用紙とセル画を組み合わせているものは、材質がまったく違うものなので、画用紙とセル画の間にAF プロテクトHを使用する。それらをまとめてAF プロテクトHに挟み、10組ずつ文書箱に保存。

背景付きセル画：基本的にはイメージボードと同様。背景画の上にセル画を重ねたものには、セル絵の具が背景画に付着して剥がせない状態になっているものがほとんどで、そのまま保存。合紙に薄葉紙を使用、AF プロテクトHで挟む。

原画：映画のカットごとに数十枚の組になっている。ゴミや汚れ、破れの処置を施した後、そのまま数組ずつ文書箱に保存。

本作業は、美術館開館準備段階の平成11年から開始されたが、対象となる資料の点数が膨大であることや、本作業中に制作が終了したアニメーション作品の資料が新たに加わることにより、現在も続けられている。

作業が終了した資料は、美術館の収蔵庫の温湿度を一定に保つ環境で保管している。

②整理のためのデータベース作成

①で保存のための処置作業を施す一方で、資料の全てに整理番号を付け、作品名、種類、サイズ、額寸法、(アニメーション制作時における)カット番号、レイアウトの有無、技法、材質、仕立、作品状態、枠の状態、修復の状態について調べたデータを画像とともにコンピューターに入力し、資料データベースを作成する。

(2) アニメーション文化に関する調査研究

アニメーション作家、作品についての基礎的調査を行うとともに、次年度以降の展覧会企画・ライブラリー作品についての検討を行っていく。

また継続的に、日本のアニメーション・スタジオ史に関する調査研究も進めていきます。特に1970年頃までの東映動画に焦点を絞り、関係者への聞き取り調査等を行う計画である。

(3) アニメーション文化に関する活動の奨励

アニメーション文化に関する調査研究活動に対する助成を行う。募集の要領については、下記の通り行う予定である。

【平成23年度実施要領】

①趣旨

公益財団法人徳間記念アニメーション文化財団は、アニメーション文化の理解及び発展のために、国内外におけるアニメーションに関する調査研究活動に対し、助成をする。

②対象とする研究の領域

- イ. アニメーションの理論・歴史に関する研究
- ロ. アニメーション制作方法およびその技術に関する研究
- ハ. その他、アニメーションに関し、上記の趣旨に寄与する研究

③調査研究計画及び助成金

調査研究計画は平成25年3月31日までに調査研究が完了し、成果を取りまとめられるものとする。

助成額は1研究計画あたり50万円以内とし、平成24年3月31日までに助成対象者に支払うものとする。

④募集の対象者

次の条件の何れかを満たす者

- ・大学院修士または博士課程に在籍する者及び調査研究期間中に進学を予定する者
- ・大学、研究機関、教育機関等において調査研究活動に従事する者
- ・博物館(含む類似施設)及び図書館で調査研究活動に従事する学芸員・図書館司書等の職員
- ・その他、当該研究活動に従事できると当財団が認める者

⑤その他の条件

- ・調査研究計画は、申請者が主体となって行う調査研究とする。申請者は個人またはグループとする。
- ・他の調査研究助成制度から既に助成を受けているか、受けることが決定している調査研究は対象外とする。
- ・申請者の国籍、在籍地は問わないが、申請及び調査研究発表は日本語で行えること。
- ・調査研究成果は完全なオリジナルであること、及び調査研究内容に含まれる第三者の著作物に関しては適法に著作権等の処理がなされていること。

⑥申請の方法

- ・当財団の指定する助成申請書に必要事項を記入し、調査研究計画書（書式自由）とともに提出する。
- ・1個人（又は1グループ）が応募できる調査研究計画は1つとする。
- ・申請の際の申請書、調査研究計画書、添付された資料等は返却しない。

⑦選考方法

学識経験者及び当財団理事・学芸員で構成する選考委員により、審査選考を行う。
（選考委員予定者）

濱野保樹（東京大学大学院教授）

池田宏（元 東京工芸大学アニメーション学科教授）

岡田英美子（アニメーション評論家）

中島清文（公益財団法人徳間記念アニメーション文化財団 常務理事）

三好寛（公益財団法人徳間記念アニメーション文化財団 学芸員）

⑧募集期間及びスケジュール

平成 23 年 11 月	公募開始
平成 24 年 1 月 31 日	応募締め切り
平成 24 年 3 月上旬	助成対象者の決定
平成 24 年 3 月 31 日まで	助成金の交付
平成 24 年 9 月 30 日まで	中間レポートの提出
平成 25 年 3 月 31 日まで	研究成果の提出

(4) アニメーション文化に関する普及啓発

①図書閲覧室トライホークスの活動

図書閲覧室「トライホークス」は、「子どもたちにふしぎなものを見て、触れて、感じて欲しい」という美術館の考えを、「本」という形で伝えていく場所として平成 14 年 2 月 6 日に美術館二階にオープンした。スタジオジブリ作品、アニメーション関連の書籍の他、宮崎駿館主が推薦する創造のきっかけの詰まった絵本、児童書を揃えている。

また、子ども達に絵本の読み聞かせをする「お話の会」を週 1～2 回の頻度で開催し、また様々な方面で活躍している方々のおすすめの本を紹介する「季刊トライホークス」を、年 4 回発刊を予定している。

②各種講演会等の開催

アニメーションに関連する方々の講演や各種イベントを年に数回開催する予定である。

③アニメーションに関する展覧会の協力

平成 23 年 7 月に東京都現代美術館で開催予定のカナダのアニメーション作家であるフレデリック・バック監督に関する展覧会「フレデリック・バック展」について、学芸員による調査研究など、展覧会の企画制作に協力する予定である。

④アニメーション作品のライブラリー活動

古今東西の名作アニメーション作品を多くの方々に視聴してもらうために、三鷹の森ジブリ美術館ライブラリーの名称を冠して、劇場上映やDVD化、TV放映などの機会を創出して作品の紹介活動を行っているが、本年も 2 作品程度紹介する予定である。

平成 23 年 7 月には、東京都現代美術館での「フレデリック・バック展」の開催に合わせて、彼のアニメーション作品自体を紹介する。フレデリック・バック監督の短編アニメーション数作品を

神保町シアターで上映する予定である。配給にあたっては、スタジオジブリ、日本テレビ、ディズニーに協力を仰ぐほか、DVDもディズニーを発売元として紹介していく。

3. 三鷹市の委託を受けて行うアニメーション美術館の管理運営（3号事業関係）

三鷹市立アニメーション美術館において下記の管理運営を行う。

- ・美術館建物及び設備の日常的な維持管理・保守
- ・美術館建物及び敷地内の常駐警備（警備会社に委託）
- ・美術館建物及び敷地における日常的な清掃管理
- ・美術館建物及び敷地の植栽の維持管理・整備

この他メンテナンス休館において、館内・館外全般の建物設備の補修・木部塗装、外壁洗浄その他を集中して行う予定である。

4. 三鷹市の委託を受けて行うアニメーションに関する事業（4号事業関係）

三鷹市が開催するアニメーション関連事業の一環として、アニメーション文化に関する上映会や講演会等の開催を三鷹市より委託を受けて実施する予定。

II. 収益事業

5. 展覧会事業に付帯する図録その他の印刷物並びにアニメーション文化に関する出版物、映像及び音楽に関する製品の製作・販売（5号事業関係）

常設展示、企画展示及び普及啓発の活動に関連した展示物の図録やその他の印刷物並びにアニメーション文化に関する出版物、映像及び音楽に関する製品を製作、販売する。

<財団販売物>

- 美術館パンフレット 各 1,000 円
日本語パンフレット
英語パンフレット
- 美術館図録 2,940 円
- 美術館絵葉書セット 1,000 円
- 映画パンフレット 各 400 円
くじらとり
コロの大さんぽ
めいとこねこバス
星をかった日
水グモもんもん
やどさがし
ちゅうずもう
パン種とタマゴ姫
たからさがし
- 企画展パンフレット
ピクサー展 600 円
アードマン展 500 円
3びきのくま展 500 円
小さなルーヴル美術館展 600 円
崖の上のポニョ展 600 円
- アードマン展ポストカードブック 1,000 円
- ルーヴル展アートコレクション 1,200 円
- 木口木版画ポストカード 6種 各 210 円
- しおり 6種 各 120 円

- 星のノート 4種 各 1600 円
- セル画
 - Hand-painted Cel 25種 36,750 円～58,800 円
 - Art Print Cel 4種 36,750 円

3. その他この法人の目的を達成するために必要な事業（6号事業関係）

①アニメーションに関する展覧会の企画制作の請負

平成23年7月に東京都現代美術館で開催予定の「フレデリック・バック展」の企画制作に対する協力にする過程で、一部業務の委託を受ける予定がある。

②アニメーション作品のライブラリー活動

三鷹の森ジブリ美術館ライブラリーの活動に基づく、劇場上映やDVD化、TV放映などの機会に、一部業務の委託を受けたり、収益配分を受ける予定がある。

以 上